

自身の経験を綴った富山県の高校生の作品が入賞！

2/22(水)南砺平高校および特別学校賞の伏木高校にて訪問表彰を行います！

(独) 国際協力機構 (JICA) では毎年「JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト」を実施しています。今年度は「世界とつながる私たち—未来のための小さな一歩—」をテーマに2022年6月7日～9月11日まで作品を募集し、昨年末、審査の結果が公表されました。

富山県内では、多くの生徒・学校が賞を受賞しました。つきましては、JICA 北陸では別紙の通り県内の受賞者へ訪問表彰およびインタビューを実施しています。

2月22日(水)はJICA 富山デスクが、下表の学校を訪問し、受賞者及び学校長に賞状と副賞のフェアトレード製品を授与します。この機会に富山県内の多くの方々に本受賞についてご案内いただきたく、当日の貴メディアによる取材をご検討頂けますと幸いです。

■2月22日の訪問表彰スケジュール

時間	場所	受賞内容	学年	氏名
10:00 ～10:30	富山県立伏木高等学校 校長室 (TEL:0766-44-0366)	特別学校賞 (団体賞)		
12:30 ～13:00	富山県立南砺平高等学校 校長室 (TEL:0763-66-2146)	佳作 (高校生の部)	1	池田 瑞月

■入賞作品のご案内 (作品名「世界の架け橋」)
父親の会社で働くベトナム人と小学生のころから面識があった池田さんは、初めは言葉の壁や恐怖を感じていたという。しかし、共に木を植えるという小さな出来事を通し、いつしか植えた木が自分自身と世界をつなぐ架け橋となったことに気が付いた。

同コンテストは、次の世代を担う中学生・高校生を対象に、開発途上国の現状や開発途上国と日本との関係について理解を深め、国際社会の中で日本、そして自分たち一人ひとりがどのように行動すべきかを考えることを目的として毎年実施しています。2022年度で中学生の部は27回、高校生の部は61回を数え、中学生の部19,832点、高校生の部24,048点、総数43,880点ものご応募をいただきました。

【本件に関する問い合わせ先】

●エッセイコンテストについて

(独) 国際協力機構北陸センター (JICA 北陸) 富山デスク 松山

TEL 076-464-6491 / 携帯 090-8966-1192 / E-mail: jicadpd-desk-toyamaken@jica.go.jp

●当日の取材については、各学校へお問い合わせください。

PRESS RELEASE



取材のご案内

(独) 国際協力機構北陸センター
2023年2月16日
